

平成 26 年度大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）活動報告

1. 組織・体制

(1) 会員館（大学、大学共同利用機関、省庁大学校等の図書館）

	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
国 立	98	98	94	94
公 立	68	66	65	61
私 立	347	335	368	353
その他	3	3	3	2
合 計	516 館	502 館	530 館	510 館

(2) 運営体制

- ・運営委員会の下に、交渉作業部会、調査作業部会、広報作業部会を設置している。
会員館から選出された運営委員会委員(14名)及び作業部会委員(26名)[4.名簿参照]、
会員館から出向している事務局職員(3名)[5.名簿参照]により運営を行っている。

2. 活動報告

2.1 出版社等との交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定

(1) 出版社交渉（事務局職員等による予備交渉＋交渉作業部会委員による本交渉）

① 平成 26 年度交渉実績

2014 年度／2015 年向け契約条件について、提案書（案）の提出期限（6 月 28 日）を経て、提案内容の精査及び版元との交渉を行い、合意に至った提案書を JUSTICE 会員館限定ウェブページに掲載し、会員館へ開示した。

	平成 26 年度	(参考) 平成 25 年度
交渉対象版元数	69 社（海外 59, 国内 10）	65 社（海外 58, 国内 7）
提案合意	53 社（うち新規 5 社）	52 社（うち新規 3 社）
提案非合意	0 社	1 社
提案合意後 取り下げ	2 社	1 社
提案中止（前年合意）	4 社	4 社
提案見送り	10 社	7 社
合意提案書数	96 件	94 件
合意製品数	234 製品	210 製品
直接対面交渉回数	100 回	94 回

※「提案合意」版元数には、「提案合意後取り下げ」版元を含まない。

② 平成 26 年度交渉過程

H26.1 月	2014 年度／2015 年契約向け提案の予備交渉の開始
H26.2.6	提案準備説明会（出版社に対する提案要件・交渉日程等の説明）
H26.2～11 月	条件交渉～提案合意
H26.4～11 月	会員館への合意提案書開示
H26.9.10～11	版元提案説明会
H27.1 月～	2015 年度／2016 年契約向け提案の予備交渉

③ 主な成果・改善点

- ・大手版元の提案更新年にあたり，交渉により，価格上昇を抑制することができた。
- ・9 月初旬までにはほとんど（94%）の提案に合意し，会員館へ提案書を開示した。
- ・提案書について，契約価格の前年比価格上昇率の記載を必須とした。
- ・各製品の契約書及び利用規約のサンプル（英文の場合は可能な限り参考和訳も添付）の提出を求め，会員館へ開示した。
- ・版元との交渉過程及び結果のうち，重要なものについて会員館へ報告した。

(2) 契約状況調査

全会員館の電子ジャーナル等の契約状況を正確に把握し，出版社交渉や契約モデルの策定に資すると共に，調査結果の概要を会員館へ開示し，コンソーシアムの現状を周知することを目的として，毎年度実施している。

調査結果概要は，JUSTICE 会員館限定ウェブページに掲載している。

〔調査期間〕平成 26 年 5 月 12 日（月）～6 月 13 日（金）

	平成 26 年度	(参考) 平成 25 年度	(参考) 平成 24 年度
調査対象館数	507 館（6 月 13 日時点の会員館数）	494 館	514 館
回答数(回収率)	506 件 (99.8%)	483 件 (97.8%)	495 件 (96.3%)

(3) 版元提案説明会の開催

JUSTICE と版元が合意した提案内容について，版元から会員館へ直接説明する場として開催した。版元等の配付資料は，JUSTICE 会員館限定ウェブページに掲載している。

日程：平成 26 年 9 月 10 日（水）～9 月 11 日（木）

場所：一橋大学一橋講堂・中会議場（東京都千代田区一ツ橋）

	平成 26 年度	(参考) 平成 25 年度	(参考) 平成 24 年度
参加会員館	207 館 330 名	203 館 320 名	197 館 282 名
参加版元	32 社 116 名	31 社 111 名	32 社 115 名

説明会の開催に先立ち，広報作業部会の企画・運営による勉強会「版元提案書の読み方入門」を実施した。また，説明会開催期間中，会場内に「JUSTICE ヘルプデスク」を設置し，作業部会委員が会員館参加者の質問・相談に対応した。〔2.3(1) 参照〕

(4) 版元向け提案準備説明会の開催

JUSTICE へ 2015 年度／2016 年契約向け提案を予定している版元に対して、交渉をより計画的・効率的に進めるため、交渉のスケジュールや提案書の重要事項などを説明した。

日程：平成 27 年 2 月 6 日（金）

場所：国立情報学研究所

参加版元数：31 社

(5) 国内電子書籍に関する検討

平成 25 年度、国公私立大学図書館協力委員会常任幹事会からの依頼を受け、国内電子書籍の供給促進に向けて、運営委員会内に「国内電子書籍に関する検討会」を設置した。

平成 26 年度は、①国内電子書籍の出版関係者との懇談、②大学図書館が用意すべき国内電子書籍を検討するための調査分析を 2 つの柱として、次の活動を行った。

H26.6.27	平成 26 年度第 1 回国内電子書籍に関する検討会
H26.7.11	調査分析に係る打合せ（分析チーム）
H26.12.12～H27.2.25	国内電子書籍出版関係者との懇談（懇談チーム） 計 5 回
H26.12.25～H27.3.31	和図書利用状況の調査分析（分析チーム）

2.2 電子リソースの長期保存とアクセス保証

世界中の大学図書館及び学術出版社が共同運営する大規模なダークアーカイブ（保存）プロジェクトである「CLOCKSS」について、国立情報学研究所と連携し、国内参加館の拡大に係る活動を行っている。

平成 26 年度出版社交渉の場において各出版社の参加有無を確認し、未参加の学術出版社に対しては参加を強く要請した。

平成 26 年の CLOCKSS への参加について、平成 25 年度末に国立情報学研究所から既参加機関へ意向確認が行われた際に、JUSTICE 事務局から CLOCKSS 未参加の JUSTICE 会員館へも参加検討依頼を行った。

	平成 26 年	(参考) 平成 25 年	(参考) 平成 24 年
参加機関数	90 機関	84 機関	30 機関

2.3 電子リソースに関わる図書館職員の資質向上

(1) 勉強会の開催

テーマ	版元提案書の読み方入門
日時	平成 26 年 9 月 10 日（水） 10:30～11:30 ※版元提案説明会の初日
場所	一橋大学一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋）
講師	中山 知士（一橋大学学術・図書部、交渉作業部会／広報作業部会委員）
内容	契約実務担当者に向けて、版元提案書の内容について実例を示しながら解説を行う。 ※配付資料は JUSTICE 会員館限定ウェブページに掲載
参加者	250 名
企画	JUSTICE 運営委員会 広報作業部会

その他	版元提案説明会期間中、会場内に「JUSTICE ヘルプデスク」を設置 作業部会委員が交替で、会員館参加者からの質問・相談に対応（36件）
-----	-------------------------------------------------------------------------

(2) 実務研修

国立情報学研究所の実務研修制度を活用し、JUSTICE 事務局（国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室）でのOJTによる人材育成を行った。

氏名	関澤 智子
所属	新潟大学 学術情報部 学術情報管理課 雑誌情報係
期間	平成26年5月16日（金）～平成26年8月13日（水）（3か月間）
テーマ	電子ジャーナル契約見直しに関するモデルケース作成に向けた調査・検討 ※成果報告は、NII教育研修事業ウェブサイトに掲載

2.4 広報及び情報収集・提供に係る活動

(1) 会員館向け広報誌『jusmine』の発行（JUSTICE 会員館限定ウェブページに掲載）

号	発行日	特集
No.16	H26.4.30	平成26年度 JUSTICE 活動予定
No.17	H26.8.1	版元提案書の読み方 ～ここがポイント！～
No.18	H26.10.29	JUSTICE 版元提案説明会 2014 レポート

(2) 関連外部団体が主催するイベント等への参加

日程	イベント名	参加内容
H26.5.31	第85回日本医学図書館協会 総会〔東京〕	分科会 B「コンソーシアム連携の可能性」 パネリストとして登壇（運営委員会委員長）
H26.6.19	第61回国立大学図書館協会 総会〔東京〕	報告「JUSTICE 活動報告」（事務局） ブース出展による広報活動
H26.8.28-29	私立大学図書館協会 2014 年 度総会・研究大会〔岡山〕	ブース出展による広報活動
H26.9.24	第24回独立行政法人図書館 コンソーシアム連絡会〔つくば〕	講演「JUSTICE 組織と活動の概要について」（事務局）

(3) 取材等対応

取材日	取材元	掲載記事等
H26.4.9	朝日新聞社	H26.4.17 朝日新聞東京本社版夕刊1面 「大学 図書リストラ：海外誌値上がり 円安追い打ち」 H26.5.20 朝日新聞西部本社版朝刊3面 「大学図書館 苦しい懐：円安で海外誌値上げ 増税拍車」
H26.5.16	共同通信社	H26.6.2 東京新聞朝刊3面、ほか地方紙多数 「学術雑誌の電子版 高騰：大学購入費 8年で3倍」ほか

H26.6.4	J-WAVE (FM ラジオ)	H26.6.4 J-WAVE TOKYO MORNING RADIO 電話インタビューによる出演 (運営委員会委員長) 「電子ジャーナルの高騰」
H26.7.18	日本経済新聞社	H26.8.12 日本経済新聞夕刊 1 面 「学術誌値上げ 大学が悲鳴：5 年で 2 割高、購入中止も」

(4) 国際会議への派遣

国公立大学図書館協力委員会の予算により、国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC : International Coalition of Library Consortia) の春季 (北米) と秋季 (欧州) の国際会議に、会員館の職員からそれぞれ 2 名を派遣し、海外のコンソーシアムとの間で情報収集・共有を行った。

回次	日程	開催地	派遣者
春季 会合	H26.4.27-30	ポートランド (アメリカ)	亀田 実希 (関西学院大学) 会員館職員 大前 梓 (京都大学) 事務局職員
秋季 会合	H26.10.19-22	リスボン (ポルトガル)	石井 直美 (横浜市立大学) 作業部会委員 大前 梓 (京都大学) 事務局職員

2.5 会議の開催

(1) 総会

年 1 回の通常総会を開催した。

- ・日 時：平成 27 年 2 月 23 日(月) 13:00～16:30
- ・場 所：一橋大学一橋講堂中会議場 (学術総合センター内)
- ・出席館：433 館 (うち、委任状による出席 308 館) 出席率 83.9%

(2) 運営委員会

回次	開催日	主な議題
準備会議	H26.3.18 (火)	平成 26 年度活動計画、運営委員会・作業部会体制、ほか
第 1 回	H26.5.28 (水)	出版社交渉の状況、契約状況調査の実施、ほか
第 2 回	H26.7.23 (水)	出版社交渉の状況、版元提案説明会の開催、ほか
第 3 回	H26.11.12 (水)	出版社交渉の状況、契約状況調査の集計状況、ほか
第 4 回	H27.1.28 (水)	平成 27 年度活動計画・予算案・運営委員会委員、ほか

3. 主な活動経過

H26.4.27-30	国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC) 2014 年春季会合 (アメリカ・ポートランド) に、会員館・事務局から派遣。
H26.5.12-6.13	平成 26 年度契約状況調査を実施。
H26.5.14	平成 26 年度国立大学図書館協会新理事会で、事務局から JUSTICE 活動状況報告。
H26.5.16-8.13	国立情報学研究所実務研修 (JUSTICE 事務局での研修)

H26.5.28	平成 26 年度第 1 回運営委員会
H26.5.28	平成 26 年度第 1 回広報作業部会
H26.5.31	第 85 回日本医学図書館協会総会 分科会で、運営委員会委員長が JUSTICE 活動概要について講演。
H26.6.19	第 61 回国立大学図書館協会総会で、事務局から JUSTICE 活動状況報告。また、ブースを出展し広報活動。
H26.6.27	平成 26 年度第 1 回国内電子書籍に関する検討会
H26.6.30	会員館へ平成 26 年度会費請求書を送付。
H26.7.8	第 8 回連携・協力推進会議で、事務局から JUSTICE 活動状況報告。
H26.7.23	平成 26 年度第 2 回運営委員会
H26.7.25	第 76 回国公私立大学図書館協力委員会で、事務局から JUSTICE 活動状況報告。
H26.8.28-29	私立大学図書館協会 2014 年度総会・研究大会に、事務局からインフォデスクを出展し、広報活動。
H26.9.10-11	平成 26 年度版元提案説明会
H26.9.24	第 24 回独立行政法人図書館コンソーシアム連絡会で、事務局から JUSTICE 活動概要について講演。
H26.10.19-22	国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC) 2014 年秋季会合 (ポルトガル・リスボン) に、会員館・事務局から派遣。
H26.11.12	平成 26 年度第 3 回運営委員会
H26.11.17	国立大学図書館協会平成 26 年秋季理事会で、事務局から JUSTICE 活動状況報告。
H26.12.10	第 77 回国公私立大学図書館協力委員会で、事務局から JUSTICE 活動状況報告。
H27.1.21-22	ケンブリッジ大学出版局の Cambridge Asia Library Advisory Board (CALAB) 2015 (マレーシア・クアラルンプール) に、会員館から派遣。
H27.1.28	平成 26 年度第 4 回運営委員会
H27.1.28	平成 26 年度第 2 回広報作業部会
H27.1.30	フランスの学術関係者とのオープンアクセスに関する意見交換会 (於フランス大使館) で、事務局から JUSTICE 活動概要について説明。
H27.2.6	2015 年度/2016 年契約向け提案準備説明会 (提案予定版元を対象)
H27.2.9-10	EBSCO Publishing 社のアジア・アフリカ・オセアニア地区 2015 年アドバイザーボード会議に、事務局から派遣。
H27.2.18	第 9 回連携・協力推進会議で、平成 27 年度 JUSTICE 運営委員会委員案について審議、平成 26 年度活動状況・決算、平成 27 年度活動計画案・予算案について報告。
H27.2.23	平成 26 年度総会
H27.3.4	平成 26 年度第 1 回交渉作業部会
H27.3.16	平成 26 年度第 1 回調査作業部会
H27.3.16	平成 27 年度運営委員会準備会議

4. 平成 26 年度運営委員会・作業部会委員名簿

【運営委員会委員】

氏 名	所 属 機 関 名 ・ 職 名	備 考
加藤 信哉	筑波大学附属図書館副館長	調査作業部会主査
関川 雅彦	東京大学附属図書館事務部長	
熊淵 智行	東京大学附属図書館情報管理課長	
鈴木 宏子	一橋大学学術・図書部学術情報課長	
島 文子	京都大学附属図書館情報管理課長	
大澤 寛	横浜市立大学学務・教務部学術情報課長	
赤崎 久美	大阪府立大学学術情報センター学術情報室長	
市古 みどり	慶應義塾大学日吉メディアセンター事務長	広報作業部会主査
北川 正路	東京慈恵会医科大学学術情報センター課長補佐	
柴尾 晋	明治大学学術・社会連携部図書館総務事務室副参事	
今村 昭一	早稲田大学図書館情報管理課長	運営委員会委員長 交渉作業部会主査
安本 裕和	関西学院大学図書館事務部長	
尾城 孝一	国立情報学研究所学術基盤推進部次長	
小陳 左和子	国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長	

【作業部会委員】

氏 名	所 属 機 関 名 ・ 職 名	所 属 作業部会	備 考
峯岸 由美	筑波大学附属図書館情報管理課係長（電子リソース）	交渉	
三角 太郎	千葉大学附属図書館利用支援企画課副課長（アカデミック・リンク担当）	交渉	
山崎 裕子	東京大学附属図書館情報管理課専門職員	交渉／広報	H26.6
原 香寿子	東京大学附属図書館情報管理課専門職員	交渉／広報	H26.7 -
近藤 真智子	東京大学附属図書館情報管理課資料契約係長	交渉	
砂押 久雄	東京工業大学研究推進部情報図書館課情報管理グループ長	交渉	
中山 知士	一橋大学学術・図書部学術情報課雑誌情報係	交渉／広報	
平田 義郎	横浜国立大学図書館・情報部図書館情報課雑誌管理係長	交渉／広報	
後閑 壮登	信州大学附属図書館管理・企画事業グループ	交渉	

氏 名	所 属 機 関 名 ・ 職 名	所 属 作 業 部 会	備 考
鈴木 雅子	静岡大学学術情報部図書館情報課長	広報	
米津 友子	名古屋大学附属図書館情報システム課雑誌掛長	交渉	
村上 健治	滋賀医科大学図書館課長	調査／広報	
坂本 拓	京都大学附属図書館情報管理課雑誌情報掛主任	調査	
塩出 郁	大阪大学附属図書館学術情報整備室学術情報収集班	交渉	
石井 直美	横浜市立大学学術情報センター	交渉／広報	
中村 健	大阪市立大学大学運営本部学術情報総合センター運営課	調査／広報	
入江 伸	慶應義塾大学メディアセンター本部課長（電子情報環境）	調査	
高杉 幸史	中央大学図書館情報資料課長	交渉	
田崎 芳加	東海大学中央図書館図書課	交渉	
宮川 良男	東京理科大学学術情報システム部図書館事務課次長	交渉	
佐藤 元紀	法政大学図書館事務部多摩事務課長	交渉	
松並 康子	明治大学学術・社会連携部図書館総務事務室	交渉／広報	
笹渕 洋子	早稲田大学図書館総務課	交渉	
松浦 有里	同志社大学図書館電子情報課電子情報係	調査	
小中 啓司	立命館大学図書館管理課	調査	
濱生 快彦	関西大学図書館事務室事務長補佐	調査／広報	
出田 善明	近畿大学中央図書館事務部収書・整理課	調査	

5. 平成 26 年度事務局員名簿

氏 名	所 属 機 関 名 ・ 職 名
小陳 左和子	国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長
保坂 睦	国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室
大前 梓	国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室

以上